

谷中地区景観形成に係る調査・検討について
(令和2年2月21日 交通対策・地区整備特別委員会 報告内容)

1. 背景及び経緯

谷中地区では、平成28年度に策定した「谷中地区まちづくり方針」の実現に向け、平成29年度より地区計画策定を進めている。地区計画で定める建替え時の基本的なルールのほか、谷中地区にふさわしい街並みや建築物の具体的な形態・意匠等のあり方について検討するため、平成30年度より調査を実施するとともに、令和元年度よりまちづくり協議会に設置された景観部会において協議を進めている。

平成30年度 経年建物（寺社以外）の悉皆調査及び景観保全制度の比較調査等
令和 元年度 まちづくり協議会景観部会新設
経年建物（寺社等）の悉皆調査等

2. 目的

景観資源の分布状況や住民意向等を反映しながら、谷中地区の景観保全を図り、寺社と住宅等が調和した特徴的な街並みの維持・形成を促進することで、地域特性を活かしたまちづくりを進めていく。

3. 主な内容

景観形成ガイドラインを検討するとともに、景観上重要な建築物等について実態を把握するための調査等を実施する。

- (1) 谷中地区景観形成ガイドライン検討
- (2) 谷中地区景観形成に係る建築物等詳細調査